

The 箏 KOTO

第2回 箏の技術革新

深海
さとみ



福永
千恵子



[客演]

尺八：藤原道山

ヴァイオリン：甲斐史子

[チケット]

全席自由

前売：4,000円

当日：4,500円

吉村
七重



[曲目]

宮城道雄

沢井忠夫

杵屋正邦

篠原 眞

吉松 隆

佐藤聰明

手事 (1947)

情景三章 (1968)

闌拍子 (らんびょうし) (1983)

TURNS (回り) (1983/93)

双魚譜 (1986)

神招琴 (1989)

※演奏順未定

2021年

6月13日(日)

開演：午後2時(1時半開場)

東京オペラシティリサイタルホール

[助成] 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
ARTS COUNCIL TOKYO
公益財団法人朝日新聞文化財団

[後援] 日本現代音楽協会、(公財)日本文化藝術財団、邦楽ジャーナル

[主催] The 箏 KOTO 実行委員会

[マネージメント] 東京コンサーツ

[チケットご予約] 東京コンサーツ TEL:03-3200-9755 (平日 11:00-16:00)

東京コンサーツウェブチケット <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

*セブンイレブンでのお支払い・お引き取りができます。

The 箏 KOTO 第2回 箏の技術革新

コロナ禍の第一波が過ぎ先への希望が見え始めた2020年9月10日、「The 箏 KOTO 第1回 箏はじめ」を客席半数ずつの昼夜2回公演として開催したのが遠い昔の様な気がします。お客様の厚い応援の元で我々3人にとっても久しぶりの舞台、しかも新シリーズ企画の舞台とあって、そこに集った全員緊張感に包まれ特別な思いに満ちた忘れられない舞台となりました。

今回の演奏会は箏の新しい世界を育んだ作曲家たちの足跡をたどりながら、様々な箏の側面を紹介する全5回シリーズの2回目の演奏会です。

「現代に生きる箏」のために創られた優れた作品を残す活動をする意味は、それらの作品がこれからも多くの人に永く愛されて聴かれたり、演奏されたりして欲しいと願うからです。

今回6月13日の演奏会も又通常の様な形での開催が出来るのかどうか分かりませんが、演奏会後には前回と同様「現代の箏」アーカイブ制作の一環としてオンライン配信を含めて発信をしてみたいのでどうぞ宜しくお願い致します。

The 箏 KOTO 実行委員会 同

曲目 (演奏順未定)

宮城道雄 —— 手事 ～十三絃箏のために～ (1947)

Miyagi Michio
(1894～1956)

Tegoto

深海さとみ

沢井忠夫 —— 情景三章 ～十三絃箏のために～ (1968)

Sawai Tadao
(1937～1997)

Joukei Sansyou

福永千恵子

杵屋正邦 —— 闌拍子 ～声と十三絃箏のために～ (1983)

Kineya Seihoh
(1914～1996)

Ranbyoshi

深海さとみ

篠原 眞 —— TURNS (回り)

Shinohara Makoto
(1931～)

～ヴァイオリニストと箏の奏者のための～ (1983/1993)

福永千恵子 甲斐史子 (Vn)

吉松 隆 —— 双魚譜

Yoshimatsu Takashi
(1953～)

～尺八と二十絃箏のための四つの古典的寓話抄～ (1986)

Soh-Gyo-Fu

吉村七重 藤原道山 (尺八)

佐藤聡明 —— 二十絃箏曲 神招琴 (1989)

Satoh Somei
(1947～)

Kamu-Ogi-Guoto

吉村七重



藤原道山

Fujiwara Dozan (尺八)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。安宅賞、江戸川区文化功績賞、松尾芸能賞新人賞、台湾・金曲獎 (Golden Melody Awards) 「最優秀編曲賞」を受賞。ユニット活動、舞台音楽、メディア出演、音楽教科書 (教育芸術社) の執筆及び出演、後進の育成など多岐な活動を展開中。令和2年度芸術選奨文部科学大臣賞。



甲斐史子

Kai Fumiko (Vn)

桐朋学園音楽大学卒業、同大学研究科修了。現代音楽演奏コンクール (競楽V) 第1位・第12回朝日現代音楽賞受賞。2003年度青山パロックザール賞受賞。ドイツ・ダルムシュタットにてクライニヒシュタイナー賞受賞。アンサンブル・ノマドメンバーとして第3回佐治敬三賞受賞。神奈川県立弥栄高等学校、東京藝術大学非常勤講師。



深海さとみ Fukami Satomi (十三絃箏)

東京藝術大学卒業・同大学院修士課程修了。その後毎年「深海さとみ箏リサイタル」を開催。文化庁芸術祭優秀賞・松尾芸能賞新人賞・文化庁芸術祭作品賞他受賞多数。テレビ・ラジオ出演の他海外演奏、作曲、教授活動と同時に数々の古典の編曲を手掛ける。宮城社大師範・元東京藝術大学准教授・上野学園大学客員教授・コロンビア大学マスタークラス指導・深海邦楽会主宰・深海合奏団主宰。多くの後進の育成に当たり、深海合奏団では特色として箏歌の「声」を主眼に置いて作品を委嘱し演奏会を開催している。

福永千恵子 Fukunaga Chieko (十三絃箏)

東京藝術大学邦楽科卒業。1980年から現代作品を中心に国内外でリサイタルを開催。1987年より国立劇場主催伶楽公演にて、正倉院古代箏、やよいのコトなどの復元楽器の演奏を担当。『現代日本音楽の展開』公演では三善晃 湯浅譲二 西村朗 野田暉行らの初演曲を演奏。一柳慧音楽監督の【TIME】の箏奏者として世界各地で公演。東海大学での20年間に育成した卒業生と共にKO・TO・KAIを結成し、[音 燦らかに] コンサートを主催。元東海大学教養学部教授、元東京藝術大学非常勤講師。沢井箏曲院所属。

吉村七重 Yoshimura Nanae (二十絃箏)

古典箏曲と新しい可能性を秘めた二十絃箏の音楽を国際的に発信し続ける現代日本を代表する演奏家。平成21年度芸術選奨文部科学大臣賞、朝日現代音楽賞をダブル受賞他受賞多数。平成24年(2012年)春の紫綬褒章。二十絃箏のスペシャリストとして、西村朗・吉松隆・佐藤聡明氏らとの共同作業を中心に独奏曲からオーケストラとの協奏曲まで、多くの作曲家の作品を初演。カメラータ・トウキョウや celestial harmonies (USA) から多くのCDをリリース。若手演奏家の育成にも力を注いでおり二十絃箏の新作を主とした「Koto Collection Today 邦楽展」は34回を数える。

東京オペラシティリサイタルホール

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー B1F

TEL: 03-5353-0788

京王新線「初台駅」東口下車 徒歩5分

《次回予告》2022年秋

The 箏 KOTO 第3回「箏の可能性を探る」